

2014年8月6日

第66回「保健文化賞」受賞者の決定について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊 光一郎)が主催する第66回「保健文化賞」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

「保健文化賞」は、1950年に創設されて以来、健康増進、疾病予防などの保健医療分野、高齢者・障害者の保健福祉分野、少子化対策等の多岐の分野において顕著な実績を残された団体および個人を表彰することで、保健衛生の向上に寄与し、この分野における権威ある賞として高い評価をいただけてきました。

第66回となる本年度は、2月3日から4月15日の期間に募集を行い、団体、個人合わせて53件のご応募をいただきました。この度、審査委員による選考のもと、10団体、個人5名の受賞者が決定しました。

これまでの受賞者総数(今回含む)は、644団体、個人331名、合わせて975件にのぼります。

なお、10月に贈呈式を開催し、受賞者には、厚生労働大臣から表彰状を、そして当社からは感謝状とともに賞金(団体200万円、個人100万円)を贈呈します。また、受賞者は贈呈式の翌日、皇居に参内し、天皇皇后両陛下への拝謁を賜ります。

以上

主催 第一生命保険株式会社
後援 厚生労働省
朝日新聞厚生文化事業団
NHK厚生文化事業団

第 6 6 回保健文化賞受賞者一覧

受賞者名	都道府県	業績
秋田県東成瀬村	秋田県	結核予防対策の推進を目的として設立された東成瀬村結核予防婦人会と連携し、結核予防に加えて健診（検診）への受診勧奨の活動支援を行うことで、高水準の受診率維持に貢献している。
特定非営利活動法人 ウィメンズネット「らいず」	茨城県	茨城県を拠点にDV・性暴力被害者支援に取り組み、電話相談、女性シェルターや自助グループの運営、被害者母子への寄り添い、心理ケアに努めるとともに、被害者の心身の回復と生活自立に貢献している。
一般財団法人 東厚生会	埼玉県	身体障害者の運転教習を行うことにより、身体障害者ドライバーを育成し、身体障害者の社会福祉に貢献している。
特定非営利活動法人 きぼうのいえ	東京都	東京の山谷地区で、重篤な病気をもった路上生活者等を入居させ、医療的ケア・ホスピスケアを通して充実した終末期を過ごすことのできる施設を運営するとともに、生活困難な者の救済と地域の安定に貢献している。
公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ ハウス・チャリティーズ・ジャパン	東京都	難病児及びその家族等に対し、家庭から離れた第二の家となる施設の設置等を講じるとともに、地域住民を中心とするボランティアの育成、意識の向上を図り、地域社会における支援体制の確立に貢献している。
静岡県健康づくり食生活推進協議会	静岡県	幼児から高齢者まで食育の輪を広げるため、静岡の多彩な地域食材を活用し、静岡の食文化を次世代へ伝承することにより、地域特性を踏まえた食育活動は、健康寿命の延伸に貢献している。
特定非営利活動法人 アレルギー支援ネットワーク	愛知県	食物アレルギーを持つ子どもたちを支える社会環境をより良くするため、教職員や栄養士等の専門職に対してアレルギーに関する教育啓発活動を行うとともに、防災対策や被災地での災害支援活動に貢献している。
社会福祉法人 島根いのちの電話	島根県	様々な人生の危機に直面し、苦悩する人々に電話を通してこころの支えになり、自殺予防に貢献している。
社会福祉法人 岡山いのちの電話協会	岡山県	様々な精神危機にある人々に対し、電話相談を行うことによって心の健康を回復し、地域精神保健の向上に貢献している。
認定NPO法人 長崎在宅Dr. ネット	長崎県	在宅医療を推進するため、希望者に対して在宅主治医を紹介するシステムを構築するとともに多職種への研修会・講習会を開催するなど、長崎地域の在宅移行・在宅医療の推進に貢献している。
北村 邦夫	群馬県	女性が主体的に取り組める確実な避妊法を導入するための支援活動と普及啓発、相談事業の推進、避妊教育の強化を通じて、若年者の人工妊娠中絶防止に貢献している。
飯嶋 幸久	埼玉県	24時間体制で休日夜間の救急患者に対応した歯科治療を提供し、住民の歯科疾患の予防と治療に努めるとともに、地域歯科医療の確保と住民に対する健康増進・疾病予防に貢献している。
丸山 博	千葉県	小児糖尿病患者のためのサマーキャンプを開催し、小児サマーキャンプの先駆者として小児糖尿病患者への病気についての知識教示や、精神面の安定・向上に貢献している。
米山 武義	静岡県	要介護高齢者に対する誤嚥性肺炎の予防のため、専門的な口腔ケアに関する基礎的及び臨床的研究を行い、その結果の普及に努め、医療・介護施設における誤嚥性肺炎の予防法の確立に貢献している。
圓井 美貴子	徳島県	障害者が地域社会で暮らすことを目指し、障害者への相談活動や若者ボランティアの養成を行うとともに、地域に根ざした活動を展開し、肢体不自由な多くの障害者の保健福祉の発展に貢献している。